

140字の読書界

地歴科有馬おすすめの「この1年で出会ったマンガ」本

- 1** 書名：銀の匙 【全15巻】
著者：荒川 弘 (あらかわ ひろむ)
発行：小学館

北海道の農業高校が舞台になった青春酪農マンガ？ 主人公の男子生徒は、札幌の進学私立中から、誰も知り合いのいない帯広の農業高校に入学。馬術部に入り、ベンチャー企業の経営に携わりながら、農業経営と格闘します。高校で出会った仲間との充実した生活は言うまでもなく、個性的な教員が魅力的です。



- 2** 書名：二月の勝者 【最新刊 7巻】
著者：高瀬志帆 (たかせ しほ)
発行：小学館

4人に1人が中学受験をする首都圏にある中学受験塾が舞台。合格請負人の塾講師と小学生の関係、塾と保護者の関係、子どもと親の関係、子ども同士の関係がリアリティをもって描かれます。身も蓋もないように思える塾講師の冷徹な発言が、実はさまざまな優しさの裏返しであると徐々に分かるのが面白い。



- 3** 書名：八百森のエリー 【最新刊 4巻】
著者：仔鹿リナ (こじか りな)
発行：講談社

仲卸の八百森青果の男性新入社員が主人公。食卓に並ぶ野菜が、どのように作られ、どのような経路で私たちの口に入ってくるのかが分かります。必要な商品を、必要な数量、必要な場所に、必要な時間に届けるのが卸売業の役割です。農業に興味がある人はもちろん、流通や経営に関心がある人も楽しめます。



- 4** 書名：ゆるキャン△ 【最新刊 9巻】
著者：あふろ (あふる)
発行：芳文社

私は、学生時代にキャンプをしながら自転車旅行をするのが趣味でした。荷物を盗まれ、嵐に遭遇し、野良犬にかまれ、心細さと向き合いながら1人でキャンプを続けていると「人生なんとかなる」と開き直ることができました。このマンガに出会い、キャンプ道具を改めて買い揃え中。春には、ゆるキャン三昧。

